

授業科目

人体の構造と機能I

担当教員名 澤田 純明	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	4	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

授業の概要

骨系、筋系、神経系、感覚器系、循環器系、内臓系（消化器系、呼吸器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系）について、それぞれを構成する器官の形態と構造を学習する。

授業の目的

人体を構成する各器官の位置と形態を系統別に理解し、看護師に必要とされる解剖学基礎知識を修得する。

学習目標

1. 骨の構造や発生について学習し、骨格全体の成り立ちを把握するとともに、頭蓋・脊柱・胸郭・四肢骨の特徴について理解する。
2. 骨格筋の構造と機能および神経支配を理解する。
3. 脳と脊髄の構造を理解し、脳神経・脊髄神経の構成を把握する。また、自律神経系について理解する。
4. 特殊感覚器の形態と構造を、その感覚機能と関連づけて理解する。
5. 心臓・動脈・静脈・リンパ系の諸器官について、形態的特徴と構造、全身の分布、他の器官系との関連を理解する。
6. 消化管（口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸）と消化腺（唾液腺、肝臓、膵臓）の形態と構造を理解する。
7. 気道を構成する鼻腔・咽頭・喉頭・気管・気管支と、ガス交換に関与する肺の構造を理解する。
8. 内分泌系の各器官の位置と名称、および分泌されるホルモンの種類と作用を理解する。
9. 腎臓および尿路の形態と構造を理解する。
10. 生殖に関わる器官の構造と構成を理解する。
11. 発生の諸段階を理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	解剖学総論1	講義	澤田 純明
2	解剖学総論2	講義	澤田 純明
3	骨系1	講義	澤田 純明
4	骨系2	講義	澤田 純明
5	骨系3	講義	澤田 純明
6	筋系1	講義	澤田 純明
7	筋系2	講義	澤田 純明
8	筋系3	講義	澤田 純明
9	神経系1	講義	澤田 純明
10	神経系2	講義	澤田 純明
11	神経系3	講義	澤田 純明
12	神経系4	講義	澤田 純明
13	感覚器系1	講義	澤田 純明
14	感覚器系2	講義	澤田 純明
15	骨・筋・神経・感覚器系のまとめ1	講義	澤田 純明
16	骨・筋・神経・感覚器系のまとめ2	講義	澤田 純明
17	循環器系1	講義	澤田 純明
18	循環器系2	講義	澤田 純明
19	循環器系3	講義	澤田 純明
20	循環器系4	講義	澤田 純明

21	消化器系1	講義	澤田 純明
22	消化器系2	講義	澤田 純明
23	消化器系3	講義	澤田 純明
24	内分泌系	講義	澤田 純明
25	呼吸器系1	講義	澤田 純明
26	呼吸器系2	講義	澤田 純明
27	泌尿器系・男性生殖器	講義	澤田 純明
28	女性生殖器・発生	講義	澤田 純明
29	解剖学実習	実習	澤田 純明、奈良 貴史、佐伯 史子、萩原 康雄
30	解剖学実習	実習	澤田 純明、奈良 貴史、佐伯 史子、萩原 康雄

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	入門人体解剖学 改訂第5版	藤田 恒夫	南江堂	2012年	5,000円+税	
参考書	カラー人体解剖学	F.H.マティーニ他著、井上 貴央 監訳	西村書店			
	イラスト解剖学 第9版	松村 譲児	中外医学社			
その他の資料	授業プリントを配布					

評価方法

定期試験（100点満点）により成績を評価する。

履修上の留意点

予習と復習が重要となる。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー

月曜12:00~14:00、火・水・木曜12:10~13:10

連絡先

澤田純明 研究室 GA401 メール junmei-sawada@nuhw.ac.jp